

基本政策 1 外国籍市民と地域住民がつながりを持つことができる

【基本政策の方向性】

外国籍市民が国籍や文化の違いによらず、地域社会の中で生き生きと暮らすことができ、地域住民が多文化への理解を深めることで、互いにつながりを持てる“まち”を目指します。

5年後の目指す姿

「外国籍市民との相互理解の広がり」

文化の違いによる互いの不安の緩和を図り、外国籍市民との相互理解が広がることを目指します。

【数値目標】	現状値	目標値
相互理解が広がっていると感じる市民の割合 (WEB アンケート)	— ⇒	75.0% (R7)

基本施策

1-1 外国籍市民への支援

生活に関する不安を緩和し、地域社会とコミュニケーションを取りながら暮らすことができるよう、外国籍市民への支援を充実します。

【KPI】	現状値	目標値
暮らしやすいと感じる外国籍市民の割合 (事業参加者等へのアンケート)	— ⇒	75.0% (R7)

【主な取組】 多言語での情報発信

市民生活を送るうえで不可欠な情報を入手できるよう、多言語による情報発信を行います。

【KSF】	現状値	目標値
多言語併記・表記された案内等の数	— ⇒	現状より充実 (R7)

1-2 市民の理解促進

外国籍市民と地域住民同士が、相互にコミュニケーションを取りながら暮らすことができるよう、市民理解の促進を図ります。

【KPI】	現状値	目標値
外国籍の人への理解が深まったと感じた割合 (事業参加者等へのアンケート)	— ⇒	75% (R7)

【主な取組】 コミュニケーション支援

やさしい日本語の活用を促進し、外国籍市民とのコミュニケーションを支援します。

【KSF】	現状値	目標値
やさしい日本語講座開催数	0 回/年 (R2) ⇒	2 回/年 (R7)

1-3 国際交流の推進

多様な文化に触れることで、多文化理解の促進を目指した国際交流を推進します。

【KPI】	現状値	目標値
国際交流を楽しみと感じた割合 (事業参加者等へのアンケート)	— ⇒	75% (R7)

【主な取組】 交流機会の充実

幅広い世代に向けた多文化理解の醸成を図るために、外国籍の方との交流機会や多様な文化に触れる機会を充実します。

【KSF】	現状値	目標値
国際交流フォーラムの参加人数	520 人 (R1) ⇒	520 人以上 (R7)

関連する SDGs ゴール



互いの理解を深め、国籍等に関わりなく地域で安心して暮らせるよう取り組みます。

関連ターゲット (10-2、10-3)



誰もが住みやすいまちになるように、外国籍市民を支援するとともに、相互理解を深めます。 関連ターゲット (11-1)

関連計画等

関連部署

市民生活部 人権・市民相談課